



第 16 回 CSJ 化学フェスタ 7

産学官連携・異分野融合・ 社会実装の最前線をキャッチ！

登録すれば無料で聴講・参加可能なコラボレーション企画と公開講座

コラボレーション企画は、一般企業、大学、研究機関・協会などが自由なテーマで情報発信を行う場です。産学官が取り組む最先端の研究を一挙に聴講できる貴重な機会として、毎年多くの方々にご参加いただいています。公開企画は広く一般の方を対象に構成されており、化学にあまり詳しくない方から化学を深く愛する方まで、どなたでも気軽に楽しめる内容となっています。毎年、多くの来場者にご好評をいただいております。データ駆動研究、サーキュラーエコノミー、バイオものづくり、さらにはイグノーベル賞まで、多彩な話題が集う第 16 回 CSJ 化学フェスタ。新しい発見や出会いを求めて、ぜひ会場に足を運んでみませんか。

はじめに

CSJ 化学フェスタには、登録すれば無料で聴講可能な企画、コラボレーション企画と公開講座があります。コラボレーション企画は、「学際領域・異文化交流を通じた学術の発展」、「イノベーションの創出」の場として利用いただける企画です。第 16 回 CSJ 化学フェスタでは、三井化学、文部科学省関連プロジェクト合同企画、新化学技術推進協会、産業技術総合研究所、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業、さらに新エネルギー・産業技術総合開発機構からのコラボレーション企画があります。「化学の社会への発信」を意識した一般社会向けの公開講座は、身近なテーマを化学的な視点でとらえます。一般の方にも理解していただけるようやさしく解説する企画として、第 16 回 CSJ 化学フェスタでは、「イグノーベル賞から見る化学」に焦点を当てました。ぜひご参加下さい。

コラボレーション企画

10 月 20 日午後 三井化学 特別企画
【触媒科学フォーラム～触媒科学最前線～】

三井化学は「地球環境と調和の中で、材料・物質の変革と創出を通して広く社会に貢献する」ことを目指しており、ものづくりの基盤技術である触媒科学の発展に向けて本フォーラムを開催します。本企画では、触媒科学の第一線で活躍されている講師による講演と、本年の三井化学触媒科学賞受賞者による最先端の触媒技術の紹介を予定しています。

10 月 20 日午後 文部科学省「データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト京都大学拠点」・「学術変革領域研究(A) 精密高分子のデータ・進化工学による次世代医薬創出」合同企画 特別企画 【データサイエンス・AI 駆動による高分子材料・医薬開発の最新動向】

カーボンニュートラル社会、Society 5.0、レジリエンス国家、そして Well-being 社会を実現するためには高分子材料は欠かせない技術的ピースです。本企画では、データ科学に基づいた DX 手法を有効利用することにより、革新的な機能・物性を有する高分子材料・医薬の効率的な創出を紹介します。さらに、従来とは全く異なる先駆的なデータ駆動型研究手法を生み出し、産業界との緊密な連携の下での展開について議論いたします。

10 月 21 日午前 新化学技術推進協会 特別企画
【Green and Sustainable Chemistry (GSC) と Circular Economy (CE) の実現に向けて】

持続可能な社会の実現に向けて、Green and Sustainable Chemistry (GSC) および Circular Economy (CE) の重要性が高まっています。本企画では、循環型社会を支えるシステム設計、循環型素材開発、Life Cycle Assessment (LCA) による環境評価など、GSC および CE の実現に資する研究・技術・評価手法を俯瞰し、分野横断的な議論を通じて今後の化学の役割と新たな協働の可能性を考えます。

10月21日午後 産業技術総合研究所 特別企画

【生物×化学プロセス連携が拓く次世代ものづくり】

近年、バイオプロセスは、従来の化学プロセスでは困難であった分子変換や高選択的反応を実現しつつあります。一方で、化学プロセスはスケールアップや連続生産技術において高い成熟度を有しています。本企画では、両者の融合により、産学官の連携を通じて、循環型社会に貢献する新たなプロセスエンジニアリング像を提示いたします。

10月22日午前 研究基盤・先端機器がつなぐ地域中核大学の研究基盤強化～地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）が拓く研究の未来～

本企画では、日本学術振興会が実施する地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）をテーマに、J-PEAKS 採択大学が推進する研究基盤強化について紹介いたします。最先端の研究機器や機器共用、研究環境構築、人材の高度化などの観点から各大学が発表を行い、参加者の皆様との情報交換や議論を通じて、今後の研究大学群としての発展・連携につなげてまいります。また、学外その他機関や産業界の皆様への情報提供も目的としております。

10月22日午後 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）特別企画

【化学研究を社会実装へつなぐNEDOの役割と支援事業】

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の取り組みおよび化学分野における支援事業を紹介いたします。あわせて、研究開発成果の社会実装に向けた取り組みや産学官連携事例を紹介し、新たな連携の可能性について議論を深めます。

公開講座

10月21日午後 公開講座

【イグノーベル賞から見る化学】

9年連続で日本人研究者がイグノーベル賞を受賞しているのはご存じでしょうか？ イグノーベル賞は、「人々を笑わせ、そして考えさせる研究」に贈られる国際的に有名な賞です。本企画では、受賞者自らも登壇いただき、研究の着想や実験の裏側、研究に込めた思いを語っていただきます。ユニークなテーマを通じて、科学の面白さや発想の自由さを体感いただける貴重な機会です。化学的な視点も取り入れて講演していただき、幅広い参加者に大いに楽しんでいただけるまたとない企画を準備しています。

おわりに

CSJ 化学フェスタのコラボレーション企画と公開講座では、化学に興味のある方はもちろん、これまで化学に馴染みのなかった方にも、異分野の技術との出会いや融合、最先端の研究、役立つ技術や知識などを身近に体験していただけます。また、人的交流の場としても最適です。どうぞ気軽にご参加下さい。

企画担当委員：植村卓史（東京大学）、亀井 啓（日揮ユニバーサル）、高島義徳（大阪大学）、辻 勇人（神奈川大学）、西本泰三（三井化学）、平井邦博（味の素）、若林隆太郎（産業技術総合研究所）

© 2026 The Chemical Society of Japan